

議事録

I. 開 会

II. 会長挨拶：今年度より全国各地にて正副会長会議を開催しています。今月は北海道にて支部の活発、且つ有意義な活動をされている事を改めて認識しました。1 月には和歌山県にて多くの会員の皆さまに出席していただき、支部設立に向けて歩みを進めているところです。

ギャラップ社による世論調査アンケート「才能とは」の結果、才能とは無意識のうちに現れる思考・感情・行動パターン、何かを生み出す力のある資質と書かれています。自分はこれから何を成すべきで何が出来るのか、なぜするのか・・・自分は何をすることにより石産協のためになるのか、ひいては業界のためになるのか、更に言えば世のため人のためになるのか・・・新年度を前に改めて皆さまにお考えいただけたらと思います。

進行役：中江専務

議長選出：白木副会長

III. 議 事

1. 定足数確認：83 名中 52 (出欠表にて確認)

理事	83 名中	出席	52 名	欠席	31 名	オブザーブ	2 名	
監事	3 名中	出席	2 名	欠席	1 名	事務局	3 名	合計：59 名出席

2. 議事録署名人の指名：太田副会長 齊藤監事 議事録作成：事務局・星野

3. 資料及び議案の確認、新議題の採択について

4. 前回議事録の承認：2012 年度第 2 回理事会・第 3 回常任理事会議事録

5. 第 9 回正副会長会議：承認議案について正副議事録参照

■ 審議事項 ■

1. 入退会者について：事務局

中江専務 審議資料 P1

(1) 入会者 2 名について → 全会可決承認

(2) 退会者 5 名について → 異議なし自動承認

2. 各事業計画について

(1) 【広報】石産協通信発行について

上野委員長 審議資料 P6

全面リニューアルした石産協通信はデザイン・内容ともに充実させている。

今後も継続必須と考える。次年度 6 回発行の予算の審議をお願いします。

・透明封筒での郵送は効果的。

・石産協通信の予算を DVD 作成等に予算を回すほうが良い。

・九州では応援して協力します。

→ 全会可決承認

(2) 【研修】お墓物語小冊子について

山口副会長 審議資料 P8

第一弾は現在までに 11,512 冊出荷と好評。第二弾の締切りは 6 月末、9 月に結果発表。記者発表も検討中。優秀作品は DVD 作成、費用は相見積りを予定。動画は HP (ネット) にて流通。

→ 全会可決承認

(3) 【年次大会】年次大会 2013 について

戸高委員長 審議資料 P11

今年度は常設展示を取りやめ規模を縮小。ワークショップを充実。リーフレットは 3/15 発送予定。

懇親会について会場変更も検討中 (二上)

声を掛け合ってまとめて参加したいと思う。(山梨：望月、東京：田代、茨城：飯島)

→ 全会可決承認

(4) 通常総会について

中江専務 審議資料 P15

資料内 2. ④テーマ削除。総会までのスケジュール確認。

予算書内、賃借料 (会場費) 100,000 円は重複ではないか? → 確認しておきます。

※補記：総会と年次は別会計なので重複ではありません。(事務局会計)

特に関東地区動員のお声掛けをお願いします (議長)

→ 全会可決承認

(5) 2014 年度通常総会会場について

中江専務 審議資料 P20

2015 年 6 月 18~19 日、同会場を第一候補。

次年度委員長へ引き継ぐ。変更があればその際に報告。

庵治 S F の日程との兼ね合いは大丈夫か。→ 5 月開催予定なので大丈夫。

→ 可決承認 (白票 1)

(6) 役員候補者推薦について

中江専務 審議資料 P21

上程議案の変更の必要あり → 役員候補者推薦委員についてへ。任期は 2013. 4. 1~2015. 3. 31

役員候補者 → 役員候補者会推薦委員候補者へ。5 名の選出について審議。

選挙管理委員会への名称変更は 2013 年 4 月より。

→正副にて再度協議、上程

- (7) 副会長の選任 白木副会長 (当日資料 P1)
岸本中国地区長を副会長に推薦。任期 1 年、地区長と兼任。→拍手を持って承認

■協議事項■

1. 各事業計画について

- (1) 【お墓ディレクター】検定の在り方について 中村委員長 協議資料 P1

小島氏は今後テキスト作成から外れる。時代に沿った内容へテキスト改定することは必要。

新テキスト、模擬問題集、受検要項等を秋頃に発表するスケジュールを検討している。

- ・大事なテキストを作成するにはスケジュールが厳しいように感じる。
- ・資格の広報をしやすくしたい。
- ・取得後の活用法が難しい。
- ・消費者目線のお墓ディレクターであるように内容を協議して欲しい。

→継続協議

- (2) 【研修委員会】お墓ディレクター更新について 山口副会長 (当日資料 P2)

以前上程した予算書ではDVD作成費 70 万円。定点カメラにて撮影→簡単な編集に切り替え予算は 15 万円に。

- ・負担にならない簡易な更新が良い。上程通りが良い。
- ・更新自体が負担にならないように。システムの簡略化とのジレンマは生じる。
- ・厚生労働省の認可を考え、更新制度自体の必要性の有無を検討したらいかか。
- ・2 級更新率が低いので内容を充実させ今以上に PR に努める。
- ・講習内容を充実させる必要が大。

→継続協議

- (3) 【社会調査委員会】墓理法研究委員会設立 柴田委員長 協議資料 P8

前回上程からの変更→委託を市場調査業者から墓園・斎場実務研究会へ (250 万円)。

データベース化と墓理法の勉強会開催。先々、他団体との提携も検討中。

- ・大手にしかメリットがないのではないか。
- ・非常に良い。支部で勉強会を開催した。小さい石屋だからこそ必要。
- ・法改正を知らない石材店の方もいる。
- ・大きい予算を使い石産協がやるべき事業なのかは議論すべき。
- ・業界のメリットとして取り組んでいただきたい。
- ・墓地開発の手引書なのかデータベース化なのか方向性がよく分からない。→あくまでもデータベース構築が目的。出来るだけ 1742 サンプルに近づけた数を集めたい。
- ・墓石を建てられない条例を業界として食い止めなければならない。目的を明確にして再上程したい。
- ・行政 (経済産業省) などの後援が受けられたら更に良い。

→次回審議上程

- (4) 2012 年度事業報告について 各担当 協議資料 P11 (及び当日資料 P7)

2013 年度事業計画及び事業予算について 各担当 協議資料 P15 (及び当日資料 P8)

《地区》

北海道：全体会議隔年開催。幸ふくろう運動継続事業。

九州：2013 年 11 月 13～14 日、初全体会議開催。実行委員長・国松氏。講演会講師・小島宏允氏

四国：来期は開催なし。九州地区全体会議を全面的に支援。

中国：四国地区同様。

北陸：活性化のためにも北陸地区にて委員会や部会を開催して欲しい。

《部会》

建築：3 月アモイ SF 時期に任意の部会員で工場見学を予定 (今年度報告)

墓石：服部顧問に相談しながら現地調査。4 月 5 日お墓の安全性に関する検討会開催 (岡山)

安心した石材販売推進委員会、お墓の取扱い説明書の作成→再度継続。

採石原石：産地活性化、情報交換の場を今後も計画予定。

輸入卸商：ワークショップ開催。9 月日中墓石交流会開催予定。(中国福建省)

加工：基本は採石原石部会と合同での開催。国内石材活性化を推進。

関連：日本でのものづくりに対し機械がない。職人も少ない。今後検討課題。

《委員会》

社会調査：墓理法研究委員会設立、お墓なんでも相談室予算 150 万円、産地証明。年 6 回開催予定。

広報：対外、対内広報の内容整理実施。各支部へマスメディアへの協力依頼。

お墓 D：一般向けリーフレット作成計画。ほか通年事業。

研修：お墓物語第二集作成。お墓 D 更新講習検討実施。

次世代育成 N：年次大会にて青年石材人交流会開催。各地青年部会での後援・研修会開催。

ワークショップ開催。

新フェア：以前のジャパニストーンフェアを消費者向けのイベントへ。委員会メンバー大募集。

2014 年 3 月 7～9 日実施予定。候補地・上野公園、国際フォーラムほか。

石材市場：開発商品の 2014 年新フェアデビューを目指す。

年次大会：例年通り 100 万円の予算計上予定。

- (5) 役員候補者推薦委員会について 中江専務 協議資料 P18

名称変更も含め副会長推挙、監事推薦 (10 名→3 名へ) と内容変更。→次回審議上程

(6) 組織図改訂版 確認 中江専務 A3 資料

期間を補記。→次回審議上程

会員に一番近い各支部長の理事としての位置づけ考慮すべき。

(7) 2013 年度年間スケジュール 中江専務 A3 資料

■■報告・依頼・確認事項■■

(1) 青年石材人向け研修会岡崎報告について 大川委員長 報告資料 P15

秋頃、茨城県支部の協力を得て稲田にて開催検討中。

収支報告内、収入、決算額 44,630→44,960 円残 5,040 円に訂正。

(2) 加工・関連部会 石材加工講習会について 坂口部会長 報告資料 P19

5月11日京都・三和研磨工業にて。

今月23.24日ものづくり立国・幕張メッセにて開催。

(3) 九州・沖縄地区全体会議(日程)について 山野地区長 報告資料 P22

2013年11月13~14日全体会議開催

(4) お墓相談室について 柴田委員長 報告資料 P23

会員名簿の開示等、意見があるが、あくまでも公益事業の一環。

各支部～事務局が連携を取り円滑に進めたい。

(5) あじストーンフェア 2013 広告協賛について 中江専務 報告資料 P24

6/8.9開催。パンフレット掲載締切り 3/15。例年通り 10,000 円の広告協賛。

(6) 捨石線量決定に関する現地実施検証報告 中江専務 報告資料 P25

経済産業省・日曜品室、宮村氏より捨石測定方法決定までの経緯報告。

資料を基に測定方法(使用機器)の説明

(7) 今後の会議日程 中江専務 (次第裏面参照)

今年度～次年度の日程確認。

■■討議事項■■

(1) 協会の在り方について

資料なし

会長：すべての会員の方が100%納得出来るかたちに持って行くのは難しい。その中でどれだけ合致する部分を増やしていくかが課題。会員のため・業界のため・社会のため、三つが揃った事業を行うことが協会の使命だと思っています。

戸部：議事をきちっとこなしていることには感服しています。協会・業界を発展させていこうという表れと思う。色々問題はあるかと思うがひとつひとつ克服して進めていけると確信している。

IV. 監事講評

齊藤：皆さま手弁当でいらしている、素晴らしい団体と思う。

村田：不安になったことがある。事業が販売・物を売ること偏っていないか。皆さまの元には1,200名の会員がいることを念頭に入れて活動していただきたい。

V. 閉会

2013年2月21日

議事録署名人：副会長 太田 元 ㊞

議事録署名人：監事 齋藤勝実 ㊞

議長：副会長 白木秀典

議事録作成人：事務局 星野みゆき